

○ 3領域の指導事項はどのように整理されたか。

1 指導事項の項目について

指導事項の項目は次のように改訂された。

(1) 「話すこと・聞くこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
話すことに関する指導事項		話題設定や取材に関する指導事項
聞くことに関する指導事項		話すことに関する指導事項
話し合うことに関する指導事項		聞くことに関する指導事項
		話し合うことに関する指導事項

(2) 「書くこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
目的意識・相手意識・自分の考えに関する指導事項		課題設定や取材に関する指導事項
取材に関する指導事項		構成に関する指導事項
構成に関する指導事項		記述に関する指導事項
記述に関する指導事項		推敲に関する指導事項
推敲・評価に関する指導事項		交流に関する指導事項

(3) 「読むこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
読書的な読むことに関する指導事項		音読に関する指導事項
叙述内容に即した読むことに関する指導事項		効果的な読み方に関する指導事項
想像的な読むことに関する指導事項		説明的な文章の解釈に関する指導事項
事象と感想、意見に関わる読むことに関する指導事項		文学的な文章の解釈に関する指導事項
目的的な読むことに関する指導事項		自分の考えの形成及び交流に関する指導事項
声に出しての読むことに関する指導事項		目的に応じた読書に関する指導事項

<ポイント>

今回の改訂で、「読むこと」の一部を除いては、指導事項の項目が中学校と揃えられている。これは、今回の改訂が学習の系統性を重視していることによる。

2 「A話すこと・聞くこと」の指導事項

* _____は、改訂されたところ

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
話題設定や取材に関する指導事項	ア <u>身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。</u>	ア <u>関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。</u>	ア <u>考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。</u>
話すことに関する指導事項	イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、 <u>丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。</u> ウ <u>姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。</u>	イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、 <u>丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。</u> ウ 相手を見たり、 <u>言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。</u>	イ 目的や意図に応じて、 <u>事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。</u> ウ <u>共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。</u>
聞くことに関する指導事項	エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。	エ 話の中心に気を付けて聞き、 <u>質問をしたり感想を述べたりすること。</u>	エ 話し手の意図をとらえながら聞き、 <u>自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。</u>
話し合うことに関する指導事項	オ <u>互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。</u>	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、 <u>司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。</u>	オ <u>互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。</u>

<ポイント>

- 「話題設定や取材に関する指導事項」は、今回の改訂で新設された指導事項である。「話す・聞く・話し合う」の指導事項と密接に関わり合う。
- 「話すことに関する指導事項」のイの一部とウについては、現行学習指導要領では、[言語事項]に含まれていた事項である。これは、発声・発音や言葉遣いに関する事項など領域の内容に関連の深いものについては、関係する領域の内容に位置づけられたことによるものである。
発声・発音については、入門期に幼児音等への個別指導が必要である。
* 幼児音には、「ライオン」を「ダイオン」、「子ども」を「コロモ」、「サカナ」を「チャカナ」と発音するなどラ行やサ行などによくみられる置き換えや、「トウモロコシ」が「トウモコシ」となる音の省略などがある。
- 「話し合うことに関する指導事項」の第3・4学年に、「司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと」という項目が加わった。

3 「B書くこと」の指導事項

* _____ は、改訂されたところ

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
課題設定や取材に関する指導事項	ア <u>経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。</u>	ア <u>関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。</u>	ア <u>考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。</u>
構成に関する指導事項	イ <u>自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。</u>	イ <u>文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。</u>	イ <u>自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。</u>
記述に関する指導事項	ウ <u>語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。</u>	ウ <u>書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。</u> エ <u>文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。</u>	ウ <u>事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。</u> エ <u>引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。</u>
推敲に関する指導事項	エ <u>文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気づき、正すこと。</u>	オ <u>文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。</u>	オ <u>表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。</u>
交流に関する指導事項	オ <u>書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。</u>	カ <u>書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。</u>	カ <u>書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。</u>

<ポイント>

- 指導事項については、学習過程が分かるように内容を構成している。1～5は、学習過程の流れである。1と5の指導事項については、新設である。

	書くことの指導事項	内 容
1	課題設定や取材に関する指導事項	書く課題をきめ、材料を集めながら自分の考えを形成すること
2	構成に関する指導事項	自分の考えが明確になるよう文章を構成すること
3	記述に関する指導事項	語や文及び段落の続き方に注意してまとまりのある文章を記述すること
4	推敲に関する指導事項	記述した文章を読み返し推敲すること
5	交流に関する指導事項	書いたものを発表し合い、交流すること

4 「C読むこと」の指導事項

* _____は、改訂されたところ

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
音読に関する指導事項	ア <u>語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。</u>	ア <u>内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。</u>	ア <u>自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。</u>
効果的な読み方に関する指導事項			イ <u>目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。</u>
説明的な文章の解釈に関する指導事項	イ <u>時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。</u>	イ <u>目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。</u>	ウ <u>目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。</u>
文学的な文章の解釈に関する指導事項	ウ <u>場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。</u>	ウ <u>場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。</u>	エ <u>登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。</u>
自分の考えの形成及び交流に関する指導事項	エ <u>文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。</u> オ <u>文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。</u>	エ <u>目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。</u> オ <u>文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。</u>	オ <u>本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</u>
目的に応じた読書に関する指導事項	カ <u>楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。</u>	カ <u>目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。</u>	カ <u>目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。</u>

<ポイント>

- 文章の解釈とは、本や文章に書かれた内容を理解し意味付けることである。今までの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像や分析、比較、対照や推論などによって相互に関連付けて読んでいく。文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴を把握したり、書き手の意図を推論したりしながら、読み手は自分の目的や意図に応じて考えをまとめたり深めたりしていく。